

令和3年度第3回芽室町総合計画専門部会（専門部会A） 議事録

令和3年8月11日（水）18:30～20:30

役場地下5・6会議室

■出席委員（8名）

大塚委員、片桐委員、児玉委員、坂本委員、高橋(仁)委員、高橋(広)委員、西村委員、花岡委員

■欠席委員（2名）

佐藤委員、嶋野委員

■事務局・説明員

佐々木政策推進課長補佐、角屋政策調整係主事

有澤教育推進課長、清末課長補佐、金須教育総務係長、橋本教育推進係長

日下生涯学習課長、藤澤図書館長、村島社会教育係長、上田スポーツ振興係長

■開会

■グループ長挨拶

■報告

第2回専門部会で回答できなかった質問への返答。

教育推進係長

実際にコロナウイルス感染症の影響で一度タブレットを親が学校に取りに行った事案については今年度の芽室西中学校においてクラスターが発生した時のことだと思われるが、この場合は生徒が濃厚接触者として、自宅での経過観察となっていたので保護者の方が取りに来るといった形となった。今後日常的な持ち帰りとなった場合には生徒自身が持ち帰ることを想定している。専用の持ち運びケースの配布についてだが、芽室町で導入したタブレット本体は頑丈な造りとなっており、ある程度の高さから落下しても破損しない造りになっている。また、持ち運びについてはランドセルやカバンに入れて持ち運ぶことを想定しているため現段階では持ち運びカバンの配布は考えていない。補償内容については校内で使用した場合の破損については学校備品と同様に学校費用で修繕を行う形である。タブレットの持ち運びについては現在持ち運び時期も含めて教育委員会で話し合っている。持ち運びした際の故障についての補償も検討している。補償内容が決定次第保護者に連絡する。

委員

小学一年生をはじめ低学年がタブレットを持つには結構重いのではないかと。また、学校

のカバンには学校の道具も入っているのでタブレットを入れるのは厳しいと思う。今回のwi-fi接続確認の時にはスーパーの袋で持ち帰っている人もいた。頑丈といっても壊れないわけではないので袋や持ち帰りバックの斡旋を学校か町で考えてほしい。

教育推進課長

学校の先生とはタブレットの重さによる低学年の不安について話し合っている。タブレットが重いということは丈夫ということで、タオル等でタブレットを包んで学校バックに入れる方が、バックで片手をふさぐよりもデジタル教科書化で学校バックの中身が軽量化されると予想されており、良いのではないかという話で協議が進んでいる。持ち運びバックの配布も考えたが、手をふさぐ不安やタブレット本体の壊れにくさからも配布は考えていない。手をふさがない対策を今後とも考えていきたい。

■議事

①学校教育の充実

【事前質問】

成果指標となる「全国学力・学習状況調査」の設問について、実際の設問を見ることはできないのかについて

教育推進係長

実際の資料を配布し、説明。

委員

成果指標設定の考え方で「豊かな心」とあり、成果指標②「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合とあるが、どうしてこの成果指標が豊かな心につながるのか疑問である。また、7割以上がよいところがあると回答しているが、逆に当てはまらないと回答している人はどのくらいいるのか。

教育推進係長

4当てはまらないと回答した生徒の割合は4.93%である。

委員

芽室小学校4年生は夏休みにタブレットの持ち帰りをしていると聞いたが、子供たちがタブレットを持ち帰って、全員の親がタブレットの使い方を教えることができる環境なのか。

教育推進課長

夏休みにタブレットの持ち帰りを行っている認識はない。芽室西中学校以外で自宅でのタブレット接続確認を全児童対象に行った。おそらくその持ち帰りのことではないか。家庭のWi-Fiはつながるのか、家庭にWi-Fiがない児童へ町のWi-Fiを貸し出し、タブレットを使うことができるのか検証した。結果として、つながらない家庭も数件あったので、原因を追究して、来年度持ち帰って使用できるようどのような支援・対策をするのか今年度考えていく。また、持ち帰って使用するにあたり、まずは子供たちが校内で正しく使用できるよう支援していく。

委員

来年度から本格的に取り組まれるということか。

教育推進課長

その通りである。冬休みに一部試行するかもしれない。ただタブレットを持ち帰るのではなく、学力定着させることが大切なので、先生たちと協議していく。

委員

勉強が苦手な子供もいると思うので、学習進度が遅れないように先生方にも頑張ってもらいたい。また、タブレットの使う時間が増えると視力の低下など健康面での影響もあると思うので注意していただきたい。

委員

この施策に対する成果指標は3つでよいのか。時代・社会の変化により、求められる資質や能力が変化している中、3つの指標だけではなく、新たな指標が必要なのではないか。

政策推進課長補佐

成果指標を変えるには議会の議決が必要であり、難しい。

教育推進課長

現在の成果指標を変えることはできないが、新学習指導要領等が作成されたこともあり、次回の成果指標を策定する際は新学習要領に基づいた視点を持っていきたい。ただ、継続するという部分もあるので、大きく変えるのではなく、成果指標の追加などが考えられる。

委員

学力の底上げについて、成績が普通の子の内申点を上げるよりも、成績が良くない子の内申点を上げる方が重要ではないか。現在、地元の高校（芽室高校）に入れにくい子が多

くいる状況であり、子供たちが地元の学校に入れるような指導を町として行っていただきたい。

教育推進課長

芽室町の中学校は全国学力学習状況調査の数学・国語において全国平均を上回っている。その中で、伸び悩んでいる子に対する指導は教員たちも課題としてとらえている。芽室町では発達支援システムというものがあり、地域コーディネーターと協力しながら学力向上させるためにマンパワーをかけてやっている。端末による学習は成績が伸び悩んでいる子に有効（個別最適化）だと言われており、自分に合った学習をすることができる。芽室町の端末にはAIドリルも入れている。端末やAIドリルの導入によって爆発的に点数が向上するとは言えないが、先生のマンパワーのサポートやICTの活用によって伸び悩んでいる子の底上げをしようと努力している。

委員

PTAの経験から、コミュニティスクールの周知・認知が少ないと感じる。また、夢応援ボランティアの登録も少ないと感じる。存在を知らない保護者の方も多いため、周知や募集の方法を工夫してほしい。コミュニティスクールの役割や重要性を伝えていくと興味を持ってくれるのではないかと。

教育推進課長

コミュニティスクールの担当課は生涯学習課だが、教育推進課も当然関係している。母体となる協議会を運営しており、議論の進め方を生涯学習アドバイザーと協議している。この議論がしっかりとされることで、ボランティアの方もより積極的に参加できるのではないかと考えている。

グループ長

それでは、評価に入る。庁内評価はCであるが、評価に関して意見はあるか。

（意見なし）

それでは、庁内評価と同じく「C（前期実施計画策定時と比較して前進した）」と評価する。

②社会教育の推進

委員

PTAの経験から、コミュニティスクールの周知・認知が少ないと感じた。また、夢応援ボランティアの登録も少ないと感じる。コミュニティスクールは地域や学校を結ぶ重要

な存在だと思うので、存在を知らない保護者のためにも、周知や募集の方法をより工夫してほしい。

委員

施策マネジメントシートには「地域と共に」と整理されている部分があるが、「地域」とは町内会単位なのか、町内会単位ではないのか。コミュニティスクールの情報について町内会に情報が入ってこない。地域といいながら町内会としては何をすればよいのか。

生涯学習課長

コミュニティスクールについては令和元年から本格的に導入して、3年目になる。昨年はなかなか活動できなかったが多くのボランティアの方に支えてもらった。コミュニティスクールボランティアの周知の部分では、募集の通信を出したり昨年の9月から中学校区に1人ずつコーディネータを配置している。やっていることやお願いしていることの発信はしているが必要としている人に対する発信をはじめ、広く町民へ行き渡っていないことを実感している。今後は、コーディネータや町の広報広聴係と協力して情報発信の仕方・手法も検討していきたい。学校が発信する情報についてもタイムリーに発信できるように、これまでいただいた意見をもとに効果的な方法を考えていきたい。もう一つ、地域に対する情報提供やボランティアの取りまとめについては各中学校区単位で行っている。町内会単位での取りまとめはしておらず、基本的に町内会に対して取り組み依頼をしたことはない。現在は協力いただいた団体や個人の口コミで情報を発信しているが、今後町内会の皆様にもご尽力いただくことも考えている。

委員

検討していただき、町内会で協力できる部分はしていきたい。

生涯学習課長

コミュニティスクールは学校と地域が協力して子供達の育みを支えという目的のほか、地域の活性化にもつなげたいという意味合いもあるので、委員の意見を参考にさせていただきたい。

委員

成果指標①の児童生徒の社会教育事業への参加者数が策定時より大幅に低下した原因を教えていただきたい。

社会教育係長

策定時 2017 年の実績値は新型コロナウイルス流行前ということもあって揖斐川町との交流、寺子屋等多くの事業を実施することができた。しかし、新型コロナウイルスの影響により軒並み参加人数の多い事業が中止となったため参加者数が大幅に減少した。

生涯学習課長

交流事業や研修派遣事業が実施できなかつたので、策定時より数値が下がってしまった。

委員

社会教育事業の参加者数減少について新型コロナウイルスの影響によるものだと理解したが、そもそも新型コロナウイルスに関係なく参加者数は減っていないのか。

社会教育係長

年度によって増減はあるが、参加者数が減っていることは確かである。

委員

子供たちの個々の活動が忙しく、子供会の参加者数や通学合宿に参加する子供も減っているように感じる。揖斐川町、トレーシー市との交流事業も同様なのか。

社会教育係長

揖斐川町との交流事業の参加者数は減っていない。トレーシー市との交流事業は日程が長いこともあり、年によって増減がある。

委員

交流が始まったときは参加者数が多かったが、今はだんだん減ってきたように感じ、心配。そのあたり、対応をどう考えているのか。

生涯学習課長

児童生徒の活動でスポーツもそうだが、町が行う社会教育事業への参加人数は減ってきている状況である。生涯学習課として世代間の交流・地域との関わりを意識していきたい。とくに、子供会は町内会の事情により組織できない場所もあるので町内会単位ではなく連合会という大きな単位で考えていかなくてはいけない。地域と子供たちがどうかかわっていくかという視点で新たな事業も考えていきたい。

委員

全生徒にタブレット配布されたということで、勉強だけではなくオンライン交流にも活用することはできないのか。コロナ渦ということでオンライン交流も主流となってきた

いるので、子供同士や揖斐川町、トレーシー市との交流にタブレットを使用してみてもどうか。

生涯学習課長

現在はタブレットを学習分野で活用しているが、ある程度使用が慣れてきた場合には、持ち帰りが始まると思う。そうなってくると、教育推進課とも協議しているが学校教育ができる支援と社会教育ができる支援は異なってくると考えている。携帯電話と同様通信のルールなどは生涯学習課で作らないといけないと認識している。

委員

紙面で池田町の図書館で本の消毒器を導入とあったが、芽室町でも導入を考えているのか。

図書館長

消毒器は複数の自治体で導入されており、芽室町でも導入の議論が進んだが、メリット、デメリットの比較を行い、デメリットとして紫外線で消毒を行うので本の日焼けにつながる、新型コロナウイルスの除菌効果が認められていない等があり、金額の問題からも導入を見送った。現在は次亜塩素酸を布巾にスプレーして本を拭くなどできる限り利用者に気持ちよく使用していただける体制にしている。

委員

4施策を取り巻く状況変化・住民意見等の中に図書館の空調と通信設備の改善とあるが、いつくらいに改善されるのか。

図書館長

空調について昨年度、今年の3月に工事が完了して館内に設置された。おかげさまで去年と比べ小中学生をはじめする利用者が増加した。また、通信環境も改善され、Wi-Fiの設置工事は完了しているので、周知の方法を現在検討しているところである。

委員

幼児コーナーや視聴覚室は空調の効果を実感できるが、図書館全体に空調設備が設置されたのか。

図書館長

図書館全体に6個設置されている。

委員

Wi-Fi の使用開始はいつからか。

図書館長

近日中に使用を開始させたいが、まだ、周知の方法も含めて使用日について確定していない。

委員

成果指標②生涯学習の機会が充実していると思う住民の割合が策定時と比べ大きく伸びているが、課題は活動場所の確保のしやすさだと思う。とくに、予約方法や適正な料金など、人数が多ければよいが少数で活動する場合の一人に対する料金が高いと感じる。実際にシニア世代から公民館の予約の方法と料金について複数の声をいただいた。住民主体の活動も大事だと思うので、利用者の声を情報共有させていただいた。また、今後は公民館だけではなく、役場庁舎の3階も使用することはできないのか。

生涯学習課長

公共施設料金の設定について、社会教育施設だけの問題ではなく、公共料金の考え方については役場全体としての考え方があるので、その考え方を見直すことになれば社会教育施設も合わせて議論することになると思う。公民館の利用について、1人だけで利用することも可能であり、庁舎の利用も場所によっては可能である。

委員

庁舎地下の会議室は一般開放しているのか。

政策推進課長補佐

現時点では、一般開放はしていない。

グループ長

それでは、評価に入る。施策名「社会教育の推進」について、庁内評価はCであるが、評価に関して意見はあるか。

(意見なし)

それでは、庁内評価と同じく「C（前期実施計画策定時と比較して前進した）」と評価する。

③地域文化の振興

委員

文化協会に娘が所属していて、施設利用料の減免は切実な問題だと感じる。日本舞踊は利用人数も少なく、月謝だけでは利用料を賄えなくなっているため、減免があれば気軽に文化協会の活動や習い事に参加しやすくなるのではないかと。

生涯学習課長

社会教育施設の利用料だけ変更することは難しいので、活動する内容によって減免するのか、しないのか。もしくは、事業や団体に対して事業費補助として補助金を上乗せするのか文化協会の役員の方々と支援の方法について話し合っている。今後町の支援が文化協会に対してどのようなものがあるのか、文化協会と考え方を共有していきたい。基本料金を変えるという整理ではなく、事業に対してどのような支援をするのか整理していきたい。

委員

成果指標①文化活動がしやすいと感じる町民の割合について、実績値に対してなぜ2022年度目標値が下がるのか。また、成果指標②も同様か。

生涯学習課長

2017年度実績値に基づき目標値が策定されるため。成果指標②文化活動の参加者数については、目標策定時に参加者の減少傾向、事業の縮小傾向が強かったため、目標値を現状維持とした。また、目標値は途中変更することができないため、実績値に対して目標値が下がっている。

委員

成果指標②について、新型コロナウイルスの影響があると思うが、なぜ地域文化活動への参加者は2020年度増えたのか。

社会教育係長

成果指標②の地域文化活動というものには町民文化展の出展者が含まれており、去年は幼稚園、保育園からの出展があったため数が大きく増えた。

委員

出展作品が減っていく中で子供たちの参加はすごく大切なので、ぜひ今後も参加してほしい。町民文化展への出展以外の要因は。

社会教育係長

コンサートの参加者や文化協会の会員の方々、町民活動支援センターでは文化に関連す

る方々も地域文化活動への参加者として含んでいる。

委員

文化財の収集・活用について、町内に彫刻や絵画が点在しており、絵画はホームページにて一覧表を確認できるが彫刻の置き場所マップのようなものは存在するのか。また、芽室町の文化財は何をさし、どの範囲までなのか。

生涯学習課長

過去にどういう整理をされたのか調べたのち、回答する。

グループ長

それでは、評価に入る。庁内評価はCであるが、評価に関して意見はあるか。

(意見なし)

それでは、庁内評価と同じく「C（前期実施計画策定時と比較して前進した）」と評価する。

④スポーツしやすい環境づくり

委員

芽室町内のスキー場としてめむろ新嵐山スカイパークがあり指定管理となっているが、新嵐山スキー場もスポーツという意味で生涯学習の位置づけになるのではないかと思う。例として経費問題などからナイターが無くなったことによって、ナイターしか滑ることのできない子供や大人の人がスキーをすることができない環境になった。ナイタースキーができるように生涯学習として支援したり、町内の小学生の利用料金を下げるなどプールや体育館で実施している町内料金のようにしないのか。せっかく、町内にスキー場があるので町内の子供たちにスキーをする機会を増やしたらよいのではないか。

生涯学習課長

指定管理の区域の中で経営しているめむろ新嵐山株式会社に対してハード部分で生涯学習課が関わることはない。また、社会教育事業として新嵐山を利用するということはあるが、ナイター営業などの営業に対して何か行うということもない。昨年の例では指定管理区域外で歩くスキーの会の皆様から歩くスキーコースをつくりたいという要望があったので、支援をおこなった。新嵐山スカイパークは町の社会体育施設という位置づけではないので原則として直接、経営に参画はしない。スキーをやりやすい環境にするために、スポーツ振興という面、スキーという種目のなかでなにか生涯学習課でできないのかという視点であれば検討材料になる。もし、活動の中で今の新嵐山へ料金や環境の改善、支援が必要となれば議論をしていきたい。

委員

新嵐山株式会社が定めた利用料金を変更することはできないと思うが利用料金に対して町内に人たちが購入したら町が一部補填するなどできないのか。スキー場は町の財産だと思うので、生涯学習としてスキー場を町民に利用しやすい環境にしていきたい。町民利用者に対して何かしらの特典があると良いと思うが。

生涯学習課長

スポーツ振興の中のスキーという種目の支援要望があれば議論する。また、活動している団体から要望があればどこに課題があり、どの解決策が望ましいのかスキーに限らず社会教育の観点から協議していく。

委員

新嵐山に関する住民意識調査を拝見してみて、高校生からの回答で、芽室町で唯一の遊び場だったのにスキー場や飲食店がリゾート化されて、きれいにはなったが自分たちが使いにくくなったので行きたいけど行けないという回答が印象に残っている。子供からの直接の訴えもあるので、冬のスポーツとして子供たちの活動しやすい場所になってほしい。

生涯学習課長

この場で料金を下げるとは言えないが、協議団体や個人の方を含めて課題意見があれば、どのような解決策・支援策が良いのか検討していく。スポーツ振興の観点からそういう整理をしなければいけないと考える。

委員

住民意識調査に出ている意見をどうとらえているのか。先ほど、意見をもらえれば議論するとあったが、住民意識調査をはじめ、個人からは常に意見が出ている状態で、団体として意見が言いにくい部分もあると思うが、団体の意見ではないと駄目なのか。新嵐山に関する所管は魅力創造課だと思うが、生涯学習課としてなにか支援を行っていただきたい。

生涯学習課長

団体でなければだめということはない。課題認識としてスポーツ振興と新嵐山の経営の立場ですり合わせをして生涯学習課として議論していなかったのが、今日いただいた意見を参考にして役場内でどういう支援をしていくのか整理をする。また、新嵐山の改革を進めてきてスポーツ振興という観点で生涯学習課がどうかかわっていくのか議論が

進んでいなかったなので、今後の参考にさせていただく。

委員

住民意識調査の回答のなかに総合体育館のトレーニング機器が古いなどの意見があるが、今後新しい機器を導入する予定はあるのか。

生涯学習課長

総合体育館のトレーニング機能について、安全性の点検を実施しており、必要な修繕を施している。令和5年度には新しいプールが供用開始されるが、その付属する施設にトレーニング機能を兼ね備える予定である。現在の体育館のトレーニングルームをそれまでは維持管理し、令和5年度から新しくなる。

委員

住民意識調査の意見で、バスケットをしたいという意見が多いが、バスケットのできる環境を整備していただきたい。

生涯学習課長

プールの建て替え計画の中に、屋外で3on3のバスケットボールができる環境を整備する提案もあるので、整理はこれからになるが検討していきたい。

委員

ゲートボールについて、3施策の達成状況（根拠）に本町発祥のゲートボールの推進を加速し、競技として継続できる環境づくりに努めるとあるが、高校生以下に教え、伝えていくことが大切だと思うがどのように考えているのか。

生涯学習課長

ゲートボール発祥の地だが、昭和の終わりから平成の最初の時期に比べて競技人口は全国で10分の1、芽室町でも減ってきている。そもそも競技としてなくなってしまっは元も子もないので、いかにスポーツとしてつないでいくのか、若い子から共感を得ることが大切なので、中学、高校、大学にも働きかけをしている。日本ゲートボール連合という組織でも再生プロジェクトを作って取り組んでおり、発祥の地として、芽室町も計画を立てて進めていきたい。実際に今年も役場だけではなく、関係団体の方と共に学校現場へ普及させていきたいと考えている。

委員

毎年発祥の地杯が開催されているが、大会にあまり重みを感じない。例えば、内閣総理

大臣賞や知事賞を入れるなど、大会に出たいと思わせる、そういった働きかけも必要なのではないか。今は、知っている人は知っているが、知らない人は知らない大会になっていて、そうではなく、50年後オリンピックの競技になるような重みのある大会にしていきたい。

生涯学習課長

一昨年の大会終了後の総括として、競技性を重視していくことで合意された。昨年今年と開催できていないが、今年度からは生涯学習課が管轄となり、競技性に重きを置く大会にするべく、実行委員とも協議していく予定であった。来年に向け、目指す大会の姿はどうか実行委員の方々と協議していきたい。

委員

2年前に町職員採用試験実技にゲートボールがあったと思うが、今でも続いているのか。

政策推進課長補佐

担当課に確認する。

委員

ゲートボール全国大会にてプラカード持ちを経験したのだが、現在も中学生がプラカードを持ったり、大会に関わっているのか。

生涯学習課長

ゲートボール競技に関わっていない人については近年プラカード持ちを行っていない。現在は吹奏楽の方たちに協力してもらって、演奏していただいている。

委員

すごくいい思い出になると思うので、ぜひ実施していただきたい。

生涯学習課長

大きい大会を開催する際は、委員の意見を実行委員会で情報提供し、検討していく。

グループ長

それでは、評価に入る。施策名「スポーツしやすい環境づくり」について、庁内評価はDであるが、評価に関して意見はあるか。

委員

評価は前期実施計画策定時と比較してということか。

政策推進課長補佐

たとえば、プールの建設等、着実に事業は計画通りに進んでいるが、プールが完成する等の成果がまだ見えていないので庁内評価ではD評価となっている。成果に向けて着実に事業は進んでいるという意味でのD評価であると認識している。

グループ長

他に意見はあるか。

(意見無し)

それでは、庁内評価と同じく「D（前期実施計画策定時と比較して変わらない又は維持した）」と評価する。

グループ長

以上で本日の議事がすべて終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

グループ長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問・意見なし)

それでは、これで本日の専門部会を終了する。